

会議等議事要旨記録票

日 時	令和4年4月15日（金曜日）午前10時30分から午前11時30分まで		
場 所	30S会議室（Web会議）		
会議等名	リスクコミュニケーションチーム会議		
議 題	都民1万人アンケートの結果について 等		
参 加 者	チームメンバー、福祉保健局関係部長、課長、広報に関わる職員等		
配付資料	なし		
主な内容	<p>東京iCDCリスクコミュニケーションチームが実施した都民1万人アンケートの結果を基に、今後の広報等について意見交換</p> <p>（アンケート結果について）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在のコロナ対策についての設問では、多くの都民が感染防止対策を継続しているが、2021年10月の調査と比較すると、「日中の外出をひかえる」「こまめに部屋の換気をする」の項目で下落が見られる。 ・「感染拡大を防ぐためなら経済活動をおさえるのはしかたない」に同意する割合（5割）は同意しない割合（4割弱）より高いが、同意する割合は2021年3月調査と比べると2割減少した。 ・ワクチンの3回目接種については、明らかに年齢差があり、60代70代では、3回目接種済みの人が増えている。「接種したい」という人も合わせると9割前後。年代が低くなるほど「接種したい」と考える人は減っているが、20代30代でも「接種したい」と考える人は5割近い。「若い人が接種していない」というように言われているが、接種意向はある。 <p>（意見交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高年へのワクチン接種については、職場への働きかけや、家庭においては子供、職場においては部下や同僚等を念頭にといたアプローチをすることで、感染は自身だけの問題ではないと気づいてもらうことが有効。重症化率のデータを示すのもよい。 ・即時性のある情報発信という意味では、ウェブサイトやSNSは有効だが、ネット情報が届かない層が存在するので、その層に向けての情報発信の手法は考える必要がある。 		
作 成 者	計画課 上條	確 認 者	東京感染症対策センター担当 課長 山崎